

## 「会員短信 54」

### 「私にもできるかも」

加藤潤子

私は、普段はピアノバーでピアノを弾いたり、ジャズを歌ったりしております。八年前、八木会長とのご縁があり、俳句の世界に触れるようになりました。私のマイペースな句をご覧になった方が、「こんな感じでいいなら私も作れそう！」と書いていただければと、気楽に作句しております。

ピアノは、若い頃は自信が持てず、三十歳を過ぎる頃まで家でひっそりと弾くだけでした。ところが、ある日、ピアノを始めたという友人からピアノの発表会に招待されました。自分の発表会に友達を呼ぶなどということは、自信のない私には清水の舞台から飛び降りるようなものでしたが、明るく屈託のない彼女はたくさんの友人を招待していました。発表会では、彼女はミスを気にせず、とても楽しそうに弾き、先生たちの演奏に合わせて歌も披露しました。最後には、観客の手拍子で会場は盛り上がり、それはそれは楽しい発表会となりました。

この時、私の中の「ミスをしてはいけない」「ちゃんと弾けるまで人前には出てはいけない」といった強いこだわりが溶けていき、「私にもできるかも！」と思えるようになりました。それからの私は、演奏会を開いたり、ピアノ検定に挑戦したり、人前での演奏の機会を積極的にもつようになり、現在のピアノバーでの演奏という形に至っています。そして…、最近は他の楽器にも手を出しています。みなさんも、「私にもできるかも？」と思ったら、もう始まっているのかもしれないよ！